スタンドブルーベースコート

その継続的な開発により、スタンドブルーベースコートは最高レベルの色精度を提供します。それは、色の適正、技術的ノウハウ、そして最高水準を満たすことがすべて私たちの DNA にあるからです。スタンドックスは、日常の修理であれ、最も困難な修理であれ、ボディーショップが優れた結果を達成するのに役立ちます。

- 最先端の顔料技術を使用したソリッドとエフェクトカラー
- 優れたカラー精度
- 優れたモトリングコントロール
- 優れた流動特性
- 卓越したボカシ作業性
- 柔軟な塗装作業性
- 1 スプレー工程で塗装（1 ビジットアプリケーション）

高品質プレミアムベースコートシステム

STANDOX
The Art of Refinishing.

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

製品の使用について-2 コートカラー

作業中は呼吸器系、皮膚および眼への炎症を避けるため、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用ください。

研磨・清掃した旧塗膜又は OEM 塗膜。

研磨・清掃したプライマーサフェーサーまたは、フィラー。

ウェットオンウェット工程で未研磨のプライマーサフェーサーまたは、フィラー。

塗装前に表面は正しく処理・清掃されていること。

補修箇所は P500-P600（機械）または P800-P1000（手研ぎ）で研磨し清掃。

		ベースコート	ビスコシティアジャスター 8510/8520
スタンダード	エフェクトカラー	100	20%
スタンダード	ソリッドカラー	100	10%

最大 10%　デミネラライズドウォーター8000 を添加できます。　気候ガイド参照

最適な塗装特性の為にビスコシティアジャスター8510/8520 を添加後、直ぐに使用してください。

その日のうちに使用してください。

ビスコシティアジャスター8510/8520 の添加無しで保存してください。

	口径	スプレー圧力	
規制適合（中圧）	1.2-1.3mm	1.8-2.0 バール	手元圧
HVLP	1.2-1.3mm	0.7 バール	噴霧圧（ノズル）

スプレーガンメーカーの指示書を参照ください。

1+0.5 コート　　艶が消える迄フラッシュオフ

表面が十分に濡れるように 70-80%隠ぺいさせるようウェット塗装。

続けて塗膜がウェットな状態でガン距離を離し、オーバーラップを十分に取り 0.5 コート塗装。

最終の 0.5 コート(50%隠ぺい)は、正しいエフェクトの配向と、隠ぺいを完了させ色の再現性を付与します。

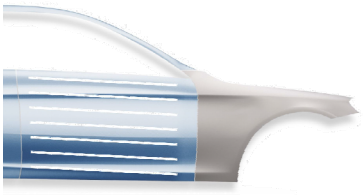
クリヤーコート

VOC規制　2004/42/II B (d) (420) 420: この製品 (製品カテゴリー: II B (d)) に対する欧州基準値は希釈済み塗料で VOC が最大 420g/L です。希釈済みでこの製品の VOC 含有量は最大 420g/L です。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

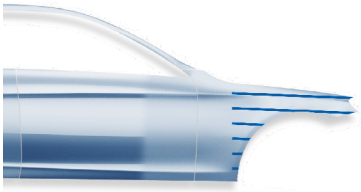
スタンドブルーベースコート

ブレンディング：スタンダード 2 コートカラー

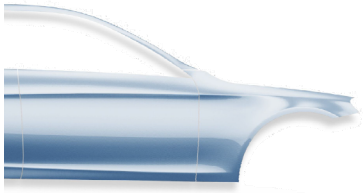


スタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 をフェードアウトエリアまたは隣接パネルへ薄く均一に塗装

スタンドブルーカラーブレンド 8570/8580 のエッジまでスタンドブルーベースコートを 1 コート塗装し隣接箇所またはパネルへ広げます。続いて表面がウェットなカラーブレンドに、ライトコートでブレンディング。



通常の 1.5 コートプロセスで残りの補修箇所（フィラー塗装部位）にスタンドブルーベースコートを塗装。スプレー圧力 1.5-2.0 バール



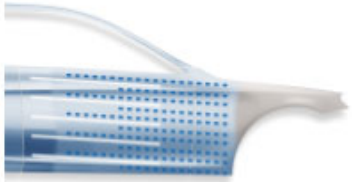
フラッシュオフ後、スタンドクリル VOC クリヤー類を塗装。

スタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 はダークカラーの場合省略可能です。
スタンドブルーカラーブレンドスロー8580 は低湿(30%以下)、高温（30℃以上）で中～大面積のボカシ作業での使用を推奨します。

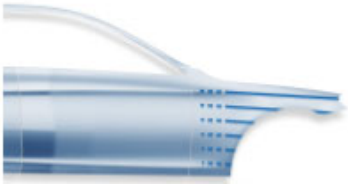
「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

ブレンディング：2 コートカラー（アウトイン塗装）

スタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 をフェードアウトエリアまたは隣接パネルへ薄く均一に塗装。 カラーブレンドはフラッシュオフしない。



スタンドブルーベースコートをライトコートでボカシ最終範囲まで 1 コートボカシ塗装。ライトコートで 2 コート目を 1 コート目の内側にボカシ塗装し補修個所に向かって塗装。パネル迄の距離を一定に保って塗装する。ボカシ塗装は補修個所に塗り広げる。



最後にスタンドブルーベースコートカラーを通常の 1.5 コートプロセス（1 ビジットアプリケーション）で交換パネルまたは補修個所に適塗装します。 完了したボカシエリアにスプレーすることは避ける。

スタンドクリル VOC クリヤー類を塗装し完了。

オプション：ハイメタリックカラーには以下の方法により塗装可能。

1. カラーブレンド 8570/8580 に MIX199 を 5～10%混合し上記のとおり塗装。
2. ボカシ塗装をスタンドブルーベースコートカラーと上記 MIX199 混合済みカラーブレンド 8570/8580 を 2:1 で混合し上記のとおり塗装。
3. 上記のとおり交換パネルまたは補修個所にスタンドブルーベースコートカラーと VOC クリヤー類を塗装。

スタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 はダークカラーの場合省略可能です。
スタンドブルーカラーブレンドスロー8580 は低湿(30%以下)、高温（30℃以上）で中～大面積のボカシ作業での使用を推奨します。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

製品の使用について-3 コートカラー

作業中は呼吸器系、皮膚および眼への炎症を避けるため、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用ください。

研磨・清掃した旧塗膜又は OEM 塗膜。

研磨・清掃したプライマーサフェーサーまたは、フィラー。

塗装前に表面は正しく処理・清掃されていること。

補修箇所は P500-P600（機械）または P800-P1000（手研ぎ）で研磨し清掃。

		ベースコート	ハードナー	ビスコシティアジャスター 8510/8520
スタンダード	エフェクトカラー	100		20%
2K ハードナー	エフェクトカラー	100	5%	20%
スタンダード	ソリッドカラー	100		10%
2K ハードナー	ソリッドカラー	100	5%	10%
カラーブレンド	グランドカラー	100	5%	-

全ての量は累積です。

最大 10%　デミネラライズドウォーター8000 を添加できます。　気候ガイド参照

最適な塗装特性の為にスタンドブルーハードナー8550 とビスコシティアジャスター8510/8520 を添加後、直ぐに使用してください。

ソリッドグランドカラー5%　：1 時間 30 分-2 時間

エフェクトグランドカラー5%　：45 分-1 時間

カラーブレンド 5%　：1 時間-1 時間 30 分

	口径	スプレー圧力	
規制適合（中圧）	1.2-1.3mm	1.8-2.0 バール	手元圧
HVLP	1.2-1.3mm	0.7 バール	噴霧圧（ノズル）

スプレーガンメーカーの指示書を参照ください。

グランドカラー（ハードナー混合）：1.5-2　　艶が消える迄フラッシュオフ

エフェクトカラー：1+0.5　　艶が消える迄フラッシュオフ

	強制乾燥	ブロー※1	自然乾燥※2
20℃	-	-	15-25 分
35-40℃	-	8-10 分	-
60-65℃	10-15 分	-	-

※1　ブース設置型のブローシステム（ハンド式/スタンド式使用の場合、近距離/高圧でブローしない）

※2　気候条件、膜厚、エアーフローに大きく影響を受けます。自然乾燥は推奨されません。

クリヤーコート

VOC規制　2004/42/II B (d) (420) 420: この製品 (製品カテゴリー: II B (d)) に対する欧州基準値は希釈済み塗料で VOC が最大 420g/L です。希釈済みでこの製品の VOC 含有量は最大 420g/L です。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

スタンドブルーベースコート

ブレンディング（スタンダード：3 コートカラー）

スタンドブルーハードナー8550 混合済みスタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 を極端な厚塗りを避け隣接するフェードアウトエリアに塗装。

スタンドブルーハードナー8550 混合済みスタンドブルーグランドカラーを、ウェットな状態のスタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 のエッジ方向と、補修個所に塗装します。2 コート目は 1 コート目の内側に塗装。
製品の調合とハードナー混合比については、混合の詳細ページを参照してください。
前のページで説明しているように、フラッシュをオフし乾燥します。

スタンドブルーハードナー8550 混合無しスタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 を隣接するフェードアウトエリアに塗布します。

ウェットなスタンドブルーカラーブレンド 8570/カラーブレンドスロー8580 のエッジ方向にスタンドブルーパールカラーの最初のコートをボカシ塗装します。最も広い領域の外側から内側に向かって作業し、必要に応じて内側にさらに塗装し色を一致させ完了します。すべての塗装はウェットオンウェットプロセスです。前のページで説明しているように、フラッシュオフし完全に表面を乾燥させます。

スタンドクリル VOC クリヤー類を塗装し完了。

スタンドブルーカラーブレンドスロー8580 は低湿(30%以下)、高温（30℃以上）で中～大面積のボカシ作業での使用を推奨します。

オプション：

1. グランドカラー塗装前のカラーブレンド 8570/8580 は省略。
2. 上記のとおりグランドカラー塗装後にボカシ部より広くニゴリカラー塗装。
   （ニゴリカラー＝パールカラーに 1-5%グランドカラーを混合）。
3. スタンドブルーハードナー8550 混合済みカラーブレンド 8570/8580 をニゴリカラーボカシ部にオーバーラップし塗装しフラッシュオフ。
4. 上記のとおりパールカラーと VOC クリヤー類を塗装。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

製品の使用について-超高効果アルミニウムカラー（MIX130 を含む）

作業中は呼吸器系、皮膚および眼への炎症を避けるため、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用ください。

適切な素地、アンダーコート、およびその準備は、この TDS の前のページに記載されています。

-補修個所すべてのパネル/フィラー面に 2K クリヤーコートを塗装します。

-乾燥および冷却後、パネル全体を次のように慎重に研磨します。

-機械研磨：P1000 - P1200 グレード

-エッジとコーナーの手研磨：P3000 グレード

-ブレンドインプロセスについては、2 コートカラー色のブレンディングのページを参照してください。

		ベースコート	ビスコシティアジャスター 8510/8520
スタンダード	エフェクトカラー	100	50%

最大 10%　デミネラライズドウォーター8000 を添加できます。　気候ガイド参照

最適な塗装特性の為にビスコシティアジャスター8510/8520 を添加後、直ぐに使用してください。

その日のうちに使用してください。

ビスコシティアジャスターの添加無しで保存してください。

	口径	スプレー圧力	
規制適合（中圧）	1.2-1.3mm	1.8-2.0 バール	手元圧
HVLP	1.2-1.3mm	0.7 バール	噴霧圧（ノズル）

スプレーガンメーカーの指示書を参照ください。

1+0.5 コート　　艶が消える迄フラッシュオフ

表面が十分に濡れるように 70-80%隠ぺいさせるようウェット塗装。

続けて塗膜がウェットな状態でガン距離を離し、オーバーラップを十分に取り 0.5 コート塗装。

最終の 0.5 コート(50%隠ぺい)は、正しいエフェクトの配向と、隠ぺいを完了させ色の再現性を付与します。

クリヤーコート

自動車メーカーの承認を満たすために特定のクリヤーコートが必要かどうかを確認してください。

VOC規制　2004/42/II B (d) (420) 420: この製品 (製品カテゴリー：ⅡB (d)) に対する欧州基準値は希釈済み塗料で VOC が最大 420g/L です。希釈済みでこの製品の VOC 含有量は最大 420g/L です。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与ますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

製品の使用について-ハードナー混合仕様

作業中は呼吸器系、皮膚および眼への炎症を避けるため、適切な防護服やマスク、安全メガネ等の保護具を必ずご使用ください。

研磨・清掃した旧塗膜又は OEM 塗膜。

研磨・清掃したプライマーサフェーサーまたは、フィラー。

ウェットオンウェット工程で未研磨のプライマーサフェーサーまたは、フィラー。

塗装前に表面は正しく処理・清掃されていること。

補修箇所は P500-P600（機械）または P800-P1000（手研ぎ）で研磨し清掃。

		ベースコート	ハードナー	ビスコシティアジャスター 8510/8520
K9600*	エフェクトカラー	100	5%	20%
K9600*	ソリッドカラー	100	5%	10%
アンダーフード/インテリア	エフェクトカラー	100	10%	20%
アンダーフード/インテリア	ソリッドカラー	100	10%	10%
カラーブレンド	グランドカラー	100	5%	–

*スタンドクリル VOC エクストリームプラスクリヤーK9600

スタンドブルーベースコートは、マルチトーン、3 コートカラーのグランドコート、アンダーフード/インテリア、およびベースコートに硬化剤が必要な用途で使用するために、スタンドブルーハードナー8550 でハードナー仕様にする機能があります。この表は主な詳細を示しています。これは、スタンドウィンの製品配合でも確認できます。スタンドックスデミネラライズドウォーター8000 は、高温/低湿の気候に適用するために添加可能。

すべての量は累積です。

でスタンドックスデミネラライズドウォーター8000 は、最大 10%添加可能。気候ガイドを参照してください。

エクストリームプラスクリヤーK9600 を 3 ステージカラーに使用するには、上記の仕様に従ってグラウンドコートとエフェクトコートの両方をハードナー仕様にする必要があります。マルチトーンの場合、エクストリームプラスクリヤーK9600 の使用を除いて、最終の塗膜層を除くすべての塗膜層をハードナー仕様にする必要があります。

エクストリームプラスクリヤーK9600 を使用する場合は、すべての塗膜層をハードナー仕様にする必要があります、上記の仕様に従ってカラーブレンドもハードナー仕様にする必要があります。

最適な塗装特性の為にスタンドブルーハードナー8550 とビスコシティアジャスター8510/8520 を添加後、直ぐに使用してください。

ソリッドカラー5%	:1 時間 30 分-2 時間
ソリッドカラー10%	:45 分-1 時間
エフェクトカラー5%	:45 分-1 時間
エフェクトカラー10%	:30 分-1 時間
カラーブレンド 5%	:1 時間-1 時間 30 分

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

製品の使用について-ハードナー混合仕様

	口径	スプレー圧力	
規制適合（中圧）	1.2-1.3mm	1.8-2.0 バール	手元圧
HVLP	1.2-1.3mm	0.7 バール	噴霧圧（ノズル）

スプレーガンメーカーの指示書を参照ください。

0,5+1

1 + 0.5　　クリヤーコート前に艶が消える迄フラッシュオフ

1 ビジットアプリケーション

1 コート目：均一にウェット塗装。

2 コート目：続けてガン距離を離して 0.5 コート塗装。

	強制乾燥	ブロー※1	自然乾燥※2
20℃	-	-	15-25 分
35-40℃	-	8-10 分	-
60-65℃	10-15 分	-	-

※1 ブース設置型のブローシステム（ハンド式/スタンド式使用の場合、近距離/高圧でブローしない）

※2 気候条件、膜厚、エアーフローに大きく影響を受けます。自然乾燥は推奨されません。

クリヤーコート

VOC規制

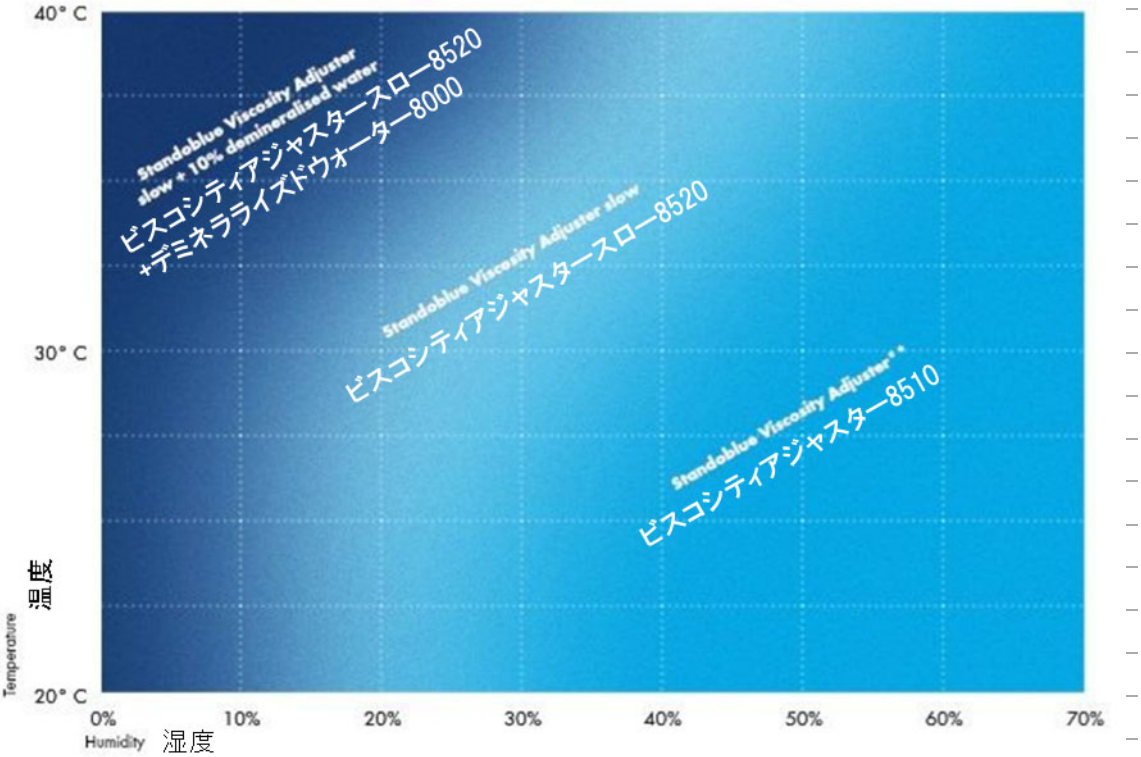
2004/42/II B (d) (420) 420: この製品（製品カテゴリー：II B (d)）に対する欧州基準値は希釈済み塗料で VOC が最大 420g/L です。希釈済みでこの製品の VOC 含有量は最大 420g/L です。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってください様ようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

気候ガイド

気候ガイドを使用して、正しいスタンドブルービスコシティアジャスターを選択します。修理サイズも考慮する必要があります。修理が大きいほど、スローに調整が必要になる場合があります。

スプレーモードのブース内温度と相対湿度を確認します。強制乾燥中に温湿度計をブースに置いたままにしないでください。



＊＊スタンドブルービスコシティアジャスター8510 は、相対湿度が 65%を超える場合、メタリック・パールカラーのみ 30%混合ができます。

スタンドブルービスコシティーアジャスター8510:
中小規模の修理および湿度 30～70%の標準ビスコシティアジャスター

スタンドブルービスコシティアジャスタースロー8520:
スロービスコシティアジャスターは 30%未満の低湿および広面積用。高温多湿、中低湿度の組み合わせにも適しています。また、低湿条件での 3 ステージカラーの塗装にも役立ちます。

スタンドックスデミレララライズドウォーター8000 :
これは、非常に低い湿度の高温条件で追加できます。特に 3 ステージカラーの塗装では、高温にかぎらず、低湿の広面積でも役立ちます。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

製品

スタンドブルーベースコート

10-20μm エフェクトカラー

12-25μm ソリッドカラー

隠ぺいに必要な DFT 値は正しいフィラーカラーを使用すると、平均で 30%削減できます。

塗布面積（理論値）

145m²/ 乾燥膜厚 1 ミクロン

異なるアクティベーターの種類、異なる混合比によって理論的な塗布面積が異なる場合があります。

注：実際の材料消費は、物体の形状、表面の状態、塗布方法、スプレーガンの設定、エアー圧力などいくつかの要因に依存します。

使用後は機器類を適切な洗浄剤で洗浄してください。（水道水で洗浄した後、デミネラライズドウォーター8000 で最終洗浄し乾燥。）

＊スプレーガンは、必要に応じて定期的に内部を溶剤で洗浄し、洗浄溶剤は完全に蒸発させる。

廃液処理

水性塗料の廃液は、溶剤塗料の廃液と同様に取り扱う。

また、16.30 コーギュラント（凝集剤）を使用することで液体から固形分を分離し処理することも可能。

（60%以上の廃棄物を削減可能。）

手順：

洗浄後の廃液に対して 16.30 コーギュラント（凝集剤）を 0.1-0.15% 混合し、固形分が分離するまで 3-5 分間十分に撹拌する。その後、フィルターで濾過した固形分と水を地域ごとの基準に従い処理する。

注意事項

- ミキシングマシーンは 24 時間で 2 回（15 分/回）迄としてください。
- 使用前の塗料は、室温(18-25℃)にして下さい。
- 新缶の原色は計量配合を行う前に適切に撹拌してください。
- カップシステム（例：SATA RPS, 3M PPS）で塗装する前に 125μm のストレーナーでろ過してください。
- 使用する全てのツールや機器は必ず水性対応の製品を使用してください。
- フラッシュオフタイムはエアーブローシステム、スプレーブース内の乾燥促進システムまたはブース内温度を上げることで短縮できます。
- 強制乾燥時はパネル温度の予熱に追加時間を考慮する必要があります。
- 乾燥時間とフラッシュオフタイムは湿度とブロー機器のタイプに関連します。
- 推奨保管・輸送温度は 5-35℃です。（5℃以下で保管しないでください。）
- ビスコシティアジャスターを添加後、その日のうちに使用するのが最適です。
- 硬化剤混合済/混合無しベースコートいずれも 72 時間以内にクリヤーコートをしてください。（温度、湿度、塗装条件等に影響を受けます。適切なフラッシュオフタイム後、すみやかにクリヤーコートすることを推奨します。）
- ハードナー混合無し希釈済みスタンドブルーベースコートは 6 ヶ月以内に使用可能ですが、使用前に再度ビスコシティアジャスターを同じ比率で添加してください。塗装前にスプレーアウトパネルで確認することを推奨します。また、ビスコシティアジャスターを再度添加することで隠ぺい性に影響を与えます。
- ハイメタリックカラーの場合、ビスコシティアジャスターは 30%希釈が可能。
- 使用前に安全データシート（SDS）をご参照下さい。また、容器に表示されている注意事項を守って下さい。

「上記ﾃﾞｰﾀは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記ﾃﾞｰﾀは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はﾌﾟﾛｾｽと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいますようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」